
全国市長会 週報 = JACM WEEKLY NEWS =

第 1459 号 令和元年 10 月 7 日発行

■□■ も く じ ■□■

◆ トピックス	1
◇ 「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」(第 1 回) が開催され、本会から立谷会長が出席	
◇ 北朝鮮ミサイル発射に対する抗議文を本会はじめ地方三団体会長が発表	
◇ 令和元年度市区町村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式において永年在職市長を表彰	
◆ 全国市長会 先週の動き	3
◆ 国の会議等の動き	3
◆ 市長の選挙	4
◆ 全国市長会 行事予定	4
◆ 全国都市数	4

◆◇◆ トピックス ◆◇◆

◇ 「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」(第 1 回) が開催され、本会から立谷会長が出席

10月4日、「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」が都道府県会館で開催され、本会から立谷会長が出席し、地域医療構想等について協議を行った。

冒頭、長谷川・総務副大臣、橋本・厚生労働副大臣からあいさつの後、地方三団体を代表して平井・鳥取県知事からあいさつがあった。

議事に入り、厚生労働省の迫井・大臣官房審議官から医療提供体制(地域医療構想、医療従事者の働き方改革、医師偏在対策)について、総務省の沖部・大臣官房審議官から公立病院の経営状況(平成30年度決算)について、それぞれ説明の後、意見交換を行った。

立谷会長からは、今回、国が再編統合等の再検討を求める公立・公的病院名を公表したことについて、①全国一律の基準で議論したことは問題である、②「ゴールキーパー」として最後の砦となっている公的病院を廃止することは、地域の過疎化に拍車をかけるため、地域において強い異論がある、③地域医療構想が前提とされているが、医師の人事権を持たない都道府県が医療提供体制を整理できるのか疑念があり、同構想自体が不確実で現実性に乏しいと言わざるを得ない、④市町村長の話をよく聞き、地域ごとの最後の砦として

の医療機関の実情を再検証したうえで、この会議の方向性をまとめていかななくてはならない、⑤地域を守る病院を経営する市町村に対し、その状況に応じ、しっかりとした交付税措置をお願いしたい、⑥医師のあり方については、本会では、プロフェッショナル・オートノミーにより決めることに反対してきたところであり、国民医療の立場から考えなくてはならない、⑦今後、この協議の場を通じて、地域医療について意見交換を重ね、地方の声を踏まえた適切な医療行政、国の支援を実現していただきたい等の発言を行った。

最後に、立谷会長から、今回の公表が病院の統廃合を誘導するものではないという理解でいいか確認したことに対し、国からは、方向性を機械的に決めるものではないとの回答があった。

なお、本会、全国知事会、全国町村会の三団体で、『地域医療構想についての意見』を席上に提出し、今後、国は地方の意見を十分に踏まえ、協議を進めるべきだとした。

これを受け、国から、引き続き同協議の場を開催する旨の回答があった。

(本会HP参照)

http://www.mayors.or.jp/p_action/a_mainaction/2019/10/191007chiikiiryoku-kunichihoukyougi.php

[社会文教部]

◇ 北朝鮮ミサイル発射に対する抗議文を本会はじめ地方三団体 会長が発表

10月2日、北朝鮮のミサイル発射に対し、立谷会長、飯泉・全国知事会会長、荒木・全国町村会会長が連名で抗議文を発表した。

抗議文では、北朝鮮に対し、我が国の地方自治体を代表して、今回の弾道ミサイル発射に対して厳重に抗議するとともに、日本及び国際社会の平和・安全を脅かす挑発行為を即刻中止し、世界の恒久平和の実現に向けて誠意を持って対応することを強く要請している。

(本会HP参照)

http://www.mayors.or.jp/p_opinion/o_teigen/2019/10/191002misairu-kougibun.php

[行政部]

◇ 令和元年度市区町村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式に おいて永年在職市長を表彰

10月4日、全国町村会館において、令和元年度市区町村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式が挙行され、長谷川・総務副大臣から永年在職（在職20年以上）の現市区長7名、元市区長2名に対し、表彰状及び記念品が贈呈された。

被表彰者は次のとおり。

菊谷秀吉・伊達市長、高野之夫・豊島区長、太田洋・いすみ市長、河上敢二・熊野市長、中村慎司・紀の川市長、蓬萊務・小野市長、井上澄和・春日市長、田岡克介・元石狩市長、多田正見・元江戸川区長。

なお、式典には、来賓として、立谷会長が臨席した。

[総務部]

◆◇◆ 全国市長会 先週の動き 9月30日～10月4日 ◆◇◆

《10月1日（火）》

「第5回地域医療確保対策会議」を開催。座長の久喜・秩父市長のあいさつの後、山本・宮古市長から「宮古市における地域医療の現状と課題」について、都竹・飛騨市長から「市民生活の実態に即した医療体制の整備」について、それぞれ事例発表の後、意見交換を行った。続いて、厚生労働省から「地域医療構想の今後の進め方」について、総務省から「公立病院改革の取組」について、それぞれ説明を聴取し、意見交換を行った。その後、①9月24日に同会議中間とりまとめを厚生労働省に提出したこと、②9月27日に本会、全国知事会、全国町村会の三団体会長連名で「地域医療確保に関する国と地方の協議の場の設置について」（コメント）を発表したことを報告したほか、今後の運営等について協議を行った。

[社会文教部]

◆◇◆ 国の会議等の動き ◆◇◆

《10月2日（水）》

「第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会」が開催され、ロタウイルスワクチンの定期接種化、予防接種施策の現状等について審議。

本会から川俣・那須烏山市長が出席し、ロタウイルスワクチンの定期接種化について、①規模の小さな市町村には負担であり、副反応が発生した場合には問題となることから、国のバックアップが必要であること、②ワクチン価格の引下げを働きかけること等の発言を行った。

[社会文教部]

《10月9日（水） 9：00》

「第83回社会保障審議会介護保険部会」が開催され、地域支援事業等の更なる推進、介護人材の確保・介護現場の革新、被保険者・受給者範囲等について審議。本会から大西・高松市長が出席予定。

[社会文教部]

◆◆◆ 市長の選挙 ◆◆◆

(選挙日)	(市名)	(市長名)	(ふりがな)	(期数)
10月6日	東京都あきる野市	村木英幸	むらきひでゆき	1期(新任10月15日)
10月6日	埼玉県所沢市	藤本正人		3期
10月6日	埼玉県幸手市	木村純夫	きむらすみお	1期(新任10月6日)
10月6日	愛知県豊川市	竹本幸夫	たけもとゆきお	1期(新任10月20日)

注) 新任の日付は、任期起算日です。

新任市長名につきましては、字体の変更がある場合もあります。

[総務部]

◆◆◆ 全国市長会 行事予定 10月7日～11月1日(4週間) ◆◆◆

(月日)	(時間)	(会議名)	(場所)	(所管)
10月15日	15:30	第1回外国人受入れ問題に関する検討会	全国都市会館(第2会議室)	行政部
10月24日	10:30	経済と暮らしを支える港づくり全国大会	砂防会館(利根)	経済部
10月24日	11:50頃	港湾都市協議会意見交換会	海運ビル(2階ホール)	経済部
10月30日	14:00	国民健康保険対策特別委員会幹事会	全国都市会館(第3会議室)	社会文教部
11月1日	14:00	介護保険対策特別委員会幹事会	全国都市会館(第3会議室)	社会文教部

[企画調整室]

◆◆◆ 全国都市数 令和元年10月7日現在 ◆◆◆

= 815 都市 =

政令指定都市	20
中核市	58
施行時特例市	27
一般市	687
特別区	23

[調査広報部]

【発行】

全国市長会 調査広報部

〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2

TEL:03-3262-2316 FAX:03-3263-5483

ホームページ : <http://www.mayors.or.jp>

内容・記事に関するお問い合わせメール : jacm@mayors.or.jp

「週報」の情報は全国市長会HPでもご覧いただけます。
